

32 就労移行支援における「農園芸」訓練について

—— 花リースの取り組み ——

理療教育・就労支援部 就労移行支援課

近藤和弘 細谷恵津子 若林耕司

1. はじめに

就労移行支援では、就労の経験のない利用者や認知面に障害を有する利用者などの対応に苦慮しており、現状の訓練の見直しを行った。結果、これまでと異なる環境での体験を通じて職業適性を判断していくことも必要であるとした。昨今、障害者の就労の場として農園芸への注目が急激に高まってきていることから（参考：農福連携。花きの振興に関する法律）、農園芸系訓練（仮称）の導入を検討してきた。

平成27・28年度は、当センターより車で30分以内にある近隣農家にて畑作業（試行訓練）を行った。結果、利用者の取り組み姿勢に変化が認められた。ただ、健康管理や協力農家（畑）への移動も大きな課題として浮かび上がった。今年度は、課題を考慮してセンター内にて花リースの取り組みを始めたので報告する。

2. 花リースの概要

花リース先として本館総合インフォメーション、センター売店、病院棟廊下窓側、個人である。花リースの手順は以下の通りである。

- 訓練室で花を育てる：各利用者が 担当の鉢を持ち種から育てる
- 注文を受ける：お客様（センター職員等）に好きな鉢を選んでもらう。選ばれる商品作り
- 届ける：お客様の各場所に 栽培担当者 が花を届ける
- 花の管理をする：週何回か訪問し、水やり、肥料、虫や病気の確認、掃除、撤去等の作業を行う。お客様とのやり取りを行う
- 次の注文をうける

3. 特徴

特 徴	ね ら い
実践的 (OJTに似たもの)	作業内容や結果が分かり易い →イメージし易い 他者から意見やクレーム等の評価をされる →緊張感がある
社会貢献	職員及び外来者から感謝や期待の声掛けがある →達成感がある
生き物（植物）が相手	生き物が相手であり、上手く育つか枯れるかが各担当の手のかけ方に影響する。育てる喜びがある →期待感もてる。癒しの効果がある
施設内訓練（OFFJT）	納期に制約されにくく、利用者の状況に合わせて進められる

4. 結果

主に、センター内作業のため健康管理は通常訓練同様に行えた。畑への移動時間分を訓練に充てて利用者に合わせて余裕を持った取り組みが出来た。また、片麻痺者や車椅子利用者も可能な範囲で参加が出来た。

5. まとめ

今回、利用者の農園芸に対する興味ある言動が認められた事は成果であった。今後の課題としては、室内環境に適した植物を年間通して安定した栽培と供給である。利用者が育てた花がセンターを飾り職員や外来者等に楽しんでもらえるよう努力していきたい。また、利用者の就労意欲の向上と新たな就労の場（農園芸関係）を考える一助になることを期待している。